

令和 2 年第 3 回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	1	四 本 奈 緒 美	1 幸手市の防災減災の取り組みについて	昨年 1 0 月の台風 1 9 号においては、埼玉県では甚大な被害を受け、利根川の氾濫危険水位到達により幸手市でも初の避難勧告が発令されました。市の対応においては、市民より多くの意見要望が寄せられました。昨年の教訓を活かし、加えて新型コロナウイルス感染症にも対応をした防災減災の取り組みが必要であります。 （１）新型コロナウイルス感染症拡大により災害発生時の避難所運営は感染症対策に万全を期することが重要です。そこで、地震・洪水それぞれの従来の指定緊急避難場所と指定避難所、各場所の収容予定人数、避難可能人数の見直しが行われたのかについて伺う。 （２）幸手市避難所運営マニュアルが本年 5 月に作成され、広報さつて 8 月号にも紹介をされました。このマニュアルの作成目的、誰がどの様に使うのか使い方について。また、このマニュアルは新型コロナウイルス感染症対応にはなっておりませんので、感染症についてはどの様に対応していく考えかを伺う。 （３）台風 1 9 号の避難の際、ペット同伴の避難の情報が不明確だったために避難をされなかった方が大変多くいらっしゃいました。市のペット避難の考え方と対策を伺う。 （４）避難所が開設された場合、避難者の健康管理が一番大事になると思われます。発熱や咳など体調不良の場合、必要に応じて避難所において医師の診断が受けられるような医療関係者との協力体制につ

				いて伺う。 (5) 防災備品が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して充実をしてきたと思われます。そこで現在の市の備蓄品と備蓄数、備蓄場所について伺う。 (6) ハザードマップの見直しの進捗状況について伺う。 (7) 地域の防災力向上が求められている中で、災害が起きたときの行動などについて住民同士で話し合っ立てる計画を地区防災計画と言います。自主防災組織がそれぞれに地区防災計画を策定しながら防災活動を推進することが必要と考えますが、市内自主防災組織の活動の現状と課題、地区防災計画の策定の推進について今後の市の対応を伺う。
2	2	坂 本 達 夫	1 新型コロナウイルス対策について 2 次期公共交通について 3 洪水対策について	(1) 介護福祉施設で働く人に対するPCR検査について伺う。 (2) 陽性者への誹謗中傷対策について伺う。 (1) 実施時期を市長に伺う。 (2) 基本的な考えを伺う。 (1) 中落悪水路の水を葛西用水路へ放水することについて伺う。

3	13	青 木 章	1 新型コロナウイルス対策での幸手市での事業について 2 幸手市におけるPCR検査等について 3 スポーツ都市幸手を目指して	(1) 今年度中止にした主な事業について伺う。 (2) 今年度、今後中止を予定している主な事業について伺う。 (3) 補助金を支出している各種団体の主な中止事業について伺う。 (4) 中止予定を含めた事業の執行残について伺う。 (1) 幸手市にPCR検査場の出来た経緯について伺う。 (2) 現在までの検査数について伺う。 (3) 幸手市のPCR検査場設置及び運営についての支出について伺う。 (1) 健康ふれあいスポーツ都市宣言の意義について市長に伺う。 (2) 高校野球埼玉県独自大会幸手会場について伺う。 (3) その他公式戦の幸手市誘致と開催状況について伺う。
4	9	小 林 啓 子	1 幸手市デマンド交通について	(1) 平成27年10月から幸手市内を運行エリアとした新しい公共交通として「幸手市デマンド交通」の運行が開始された。現在に至るまでの経緯と運行形態で見直された内容を伺う。 (2) 現在の登録者数を伺う。 (3) 令和3年に向けての進捗状況を伺う。 (4) 幸手市にとって今後の「幸手市デマンド交通」のあり方を市長に

			2 地方創生とシティプロモーションについて	伺う。 (1) 幸手市における本年4月以降のシティプロモーションの事業内容について伺う。 (2) 地方創生は、今年度から5年にわたる「第2期」がスタートした。新しい基本方針は、昨年12月に閣議決定された第2期総合戦略に加え、その後コロナ禍の影響を踏まえた内容になっている。その一つとして、情報通信技術などを活用し、遠隔で働くリモートワークの普及などを打ち出している。幸手市として、若い世代の移住定着を促すリモートワークの後押しをする事業の展開が必要になると考えるが、幸手市のお考えを伺う。 (3) 内閣府は、地方創生臨時交付金の有効活用に向けて、20の分野からなる政策資料集「地域未来構想20」を公表した。そして、自治体と各分野の専門家、関係省庁をマッチングして、事業の実施を加速させるための「オープンラボ」を設けた。幸手市としても、「新しい生活様式」の確立を進める中で、「オープンラボ」に登録していくことが必要と考えるがお考えを伺う。
5	10	松田雅代	1 埼玉東部消防組合幸手西分署救急ステーション化について	(1) 今年5月、正副管理者会議において西分署の「救急ステーション化案」が提示され、幸手市では庁議を経て案の受け入れを決定。8月18日には組合に対し、市として西分署の救急ステーション化に同意の立場で態度表明をするとのことであった。正副管理者会議での協議結果を伺う。

			2 新型コロナウイルス感染症対策における幸手市の通常業務に関する対処方針について	(1) 新型コロナウイルス感染症発生による通常業務への影響を伺う。 (2) 通常業務における市民・職員以外の関係者を含む会議等の開催の取り扱いを伺う。 (3) リモート・Web 会議の環境整備状況を伺う。 (4) 今後の市の With コロナの対処方針を伺う
6	7	本 田 謡 子	1 台風19号から約1年、現在の防災対策とこれからについて 2 幸手市避難所運営マニュアルについて	(1) それぞれの進捗状況を伺う。 ① 防災行政無線 ② 洪水ハザードマップ ③ 市のホームページ ④ SNS等 ⑤ 広報車 (2) 高齢者や障がい者などの一人で避難できない要支援者対策の進捗状況と今後の対策を伺う。 (避難行動要支援者個別計画者の状況等を含む) (3) ペット同行避難の進捗状況を伺う。 (4) 避難所や避難場所においての開設にあたり、昨年12月議会の私の一般質問で市や地域・防災組織などの役割が明らかになり、そのことに対する市民への啓発について、市の考えを伺う。 (1) 令和2年5月に発行されたが、現在までの市民や関係団体に対する活用状況を伺う。

				(2) 避難所運営マニュアルに対し、市民からの意見などがあったのか伺う。 (3) 今後、どのように活用していくのか、市の考えと施策等を伺う。
7	15	大 平 泰 二	1 新型コロナ感染症対策について	(1) 保健所とのホットライン設置について伺う。 (2) 保健所所有感染者送迎車の有無とその運用について伺う。 (3) 新型コロナ対策について幸手医師会に対し要望した内容について伺う。 (4) 老人施設に対する感染予防対策と抗原検査、PCR検査の実施について伺う。 (5) 幸手市内に設置されている発熱外来PCR検査の現状について伺う。 (6) 専決処分、補正予算等の新型コロナ対策予算執行状況について伺う。 (7) 市における緊急小口資金特例貸付の現状について伺う。 (8) 今後の新型コロナ対策予算財源確保について伺う。 (9) 会派が提案した事項に対する対策本部内の検討と回答時期について伺う。

			2 幸手市定員適正化計画について 3 財政問題と駅西口土地区画整理について	(10) 対策本部会議の議事録作成について伺う。 (1) この計画の各課、各部の評価について伺う。 (2) 各年度、各部門の職員（消防含む）再任用、会計年度任用職員数について伺う。 (3) 各年度、各部門の職員の人件費（消防含む）総額について伺う。 (4) 定年延長に対する人件費の影響額について伺う。 (1) 今後の事業見通しと予算規模見通しについて伺う。 (2) 財政難の原因となった東西自由通路、駅舎建設、古川橋建設の検証について伺う。
8	4	小林 英雄	1 市庁舎の現状・新庁舎建設までの対策について	(市庁舎の現状) (1) 今年度の庁舎関連のトラブルはどのようなものがあったか伺う。 また、その原因と対応について伺う。(建築本体、電気設備、給排水設備など)。 (2) 年間の修繕費はどれくらいかかっているか伺う。またこれまでの修繕、補修等についての状況を伺う。 (3) 耐震補強以外の大きな課題として庁舎の防水加工の老朽化が考えられるが、防水等の修繕工事はいつ行われたか伺う。それ以外にも大きな課題と考えられるものがあるか伺う。

				(新庁舎建設までの対策) (4) 一般的な建て替えのスケジュールはどのように捉えているのか伺う。 (5) 他市事例を含めて、事業費はどの程度に考えているのか伺う。 (6) 現庁舎（本庁舎、第二庁舎）を基準として、規模（床面積等）はどの程度に考えているのか伺う。（車いすやベビーカーが対応可能な通路や待合室、エレベーターを想定すると床面積はどの程度必要か） (7) 一般的に工事着手するための事業費の内訳としては、基金をどの程度積み立てて、起債をどの程度想定して着手するのか伺う。その他に見込める財源は想定されるのか伺う。 (8) 基金の積み立て状況と見込みはどのような状況か伺う。 (9) 新型コロナウイルスに職員が感染し、市役所が一時閉鎖となった事例もあるが、対策の一つとして庁舎機能を分散することは可能と考えられるか伺う。
9	3	海 老 沼 隆 夫	1 公共交通機関について	(1) デマンドバスの運行方法・サービス方法の改善について。 コロナウイルスの感染問題は有りますが、これまで、9人乗車できるバスにて、一人又は二人乗車のみの運行がほとんどの状況のようでしたが、その後、どのように改善されたのか。電話をしても予約が取れないなどの、受付の仕方を、予約定員などの改善するなどおこなわれたのか。それぞれの利用者の乗車場所・目的場所によって、大変複雑な組み合わせになりますが、これまでの運行結果から、それらへの対応する仕組み・システムは、具体的には何通り位組み

				上がっているのか。利用者が、利用しやすいように、それらのシステムは公開できないのか。それぞれについて伺う。 (2) 福祉タクシーの初乗り運賃の補助支援について。 初乗り運賃はいくらなのか。行きと帰りのそれぞれで利用可能なのか。何回利用できるのか。初乗り運賃で目的地に到着出来ない場合には、乗車料金の支払いはどうなるのか。それぞれについて伺う。 (1) 子育て支援日本一を掲げる幸手市において、市の方針とはまったく反対の方策です。我が子を産み育み、楽しく幸せな家庭を築きたいと考える世帯にとっては、重みでしか有りません。幸手市の子育て世帯での、第2子、第3子を望む世帯が減少しませんか。市の考えを伺う。 (2) 現在、幸手市として、どのような改善・対策がされているのか伺う。 (3) 例えば、第2子以降、又は第3子以降は成人になるまで、免除するなどの対策は行われているのか、又は検討されているのかを伺う。
			2 保険料の均等割りの改善について	
			3 排水溝の汚泥について	(1) 昨年の台風19号のとき、排水溝からあふれる雨水のため、床下浸水した箇所を、市に報告したところ、早速に市が来て、調べて行くと、喜んでおりました。しかし、その後私が調べられた範囲においては、その箇所の排水溝の汚泥は、深さ70cm位の排水溝の50cm位までは堆積したままであり、今後の対応をどうしていくのかを伺う。

				(2) 同じように排水溝が汚泥でいっぱいの様子は、栄地区のひまわり幼稚園から、東埼玉病院までの外周路に沿った排水溝でも続けて見られます。今後の対応について伺う。 (3) 幸手市は、他の地域でのこのように排水溝が汚泥でほとんど埋まり、排水溝の役割を成しえて得ない場所を把握しているのか、またどのように対応して行くのかを伺う。
10	5	枝久保喜八郎	1 防災対策について 2 コロナ対策について 3 本年度教育行政重点施策について	(1) 昨年の台風19号を受けての課題と今後の取り組みについて伺う。 (2) 対策を構築する上で大きなハードルと思われる点について伺う。 (1) PCR検査の現状について伺う。 (2) 同検査は県の指導に則って実施される事業だが、補助金使途及び結果報告等々、責任の所在はどうなっているのか伺う。 (3) 県補助金月間270万円の使途明細及びその取り決め方法について伺う。 (4) 2次補正（一般会計補正予算第5号）で医療機関応援給付金16,165千円が確定したが、この対象総数と配分方法について伺う。 (1) 現時点での施策運営上の問題点について伺う。 (2) 広範囲に項目が網羅されているが、目標設定について伺う。

				(3) 学校制度改革について市長及び教育長のお考えを伺う。
1 1	1 4	武 藤 壽 男	1 幸手市の財政状況について 2 市の諸計画について	(1) 現在の財政状況の認識について伺う。 (2) 財政指標の評価と認識を伺う。 (3) 基金残高、市債残高の評価について伺う。 (4) 本市の財政構造の認識について伺う。 (5) 厳しい状況と思われるがその原因と要因について伺う。 (6) コロナ後、来年度以降の財政見通しについて伺う。 (7) 今後の財政運営について伺う。 (1) 幸手市定員適正化計画について伺う。また計画のなかで専門職の確保対策と行政事務のA I 化デジタル化への取り組みについて伺う。 (2) 同計画に人材育成計画はないのか伺う。 (3) 公共施設個別施設管理計画について伺う。
1 2	8	小 河 原 浩 和	1 市長就任1年目を迎えるに当たり市政運営全般の統括について市長に伺う	(1) 就任1年を迎えるにあたり所感を伺う。 (2) 市政発展のために特に重点とした施策や事業について伺う。

			2 選挙公約に掲げた4本柱の施策と課題について市長に伺う	(3) 市政発展のための今後の行政運営について伺う。 (4) 総点検を行うとしたが現在の進捗状況について伺う。 (5) 副市長不在による市政運営について伺う。 (1) 若い世代の定住促進の具体的な施策と進捗について伺う。 (2) 医療・介護・福祉の連携強化を図ると表明した具体的な方策と現状について伺う。 (3) 公共施設の再編、整備の中長期的な財政計画を図るとした具体的な方策について伺う。 (4) 災害や暮らしに強いまちづくりについてのうち、調整池、西分署の存続及び危機管理組織の見直しについて伺う。 (5) 令和2年度内に取り組むべき喫緊の課題について伺う。
--	--	--	-------------------------------------	--